



Handsome

New Year 2024 No.410

巻頭
記事

年頭のごあいさつ

12月例会開催 12月例会を終えて

忘年会に参加して／11月(家族)例会に参加されたご家族より
卒会予定者より敬愛する中央会生活を振り返って
委員長2024年抱負
50周年事業スローガン・活動テーマ決定!!
新入会員紹介／編集後記

◆発行人:鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 中村 友紀 ◆編集責任者:担当副会長 住 真介 ◆制作・編集:第49期総務委員会 委員長 大江 史紀

年頭のごあいさつ

鳥取県西部中小企業青年中央会
第49期 会長 中村 友紀



新年あけましておめでとうございます。旧年中は、OB会員の皆様、関係機関及び会員所属企業の皆様、そして会員ご家族の皆様には、当会の活動に格別なるご支援、ご協力を賜り、心より厚く御礼を申し上げます。

会員の皆様におかれましては昨年度5月からコロナが感染症5類になり当会活動もフルスペックで開催される上に50周年記念事業に伴い例年よりも多くの活動に取り組み事業を創り上げていただいていることを感謝申し上げます。

本年度はスローガンを「敬愛」と掲げ、これまでの歴史に親しみと敬いの気持ちを大切にしながら変化する新たな時代や価値観を捉えて50周年へと繋ぎ、時代に即した形で地域を支える経済団体となれるように活動

をしております。半年を振り返りますと7月には多くのご来賓とOB会員の方々にご臨席賜り開催しました通常総会・懇親会はコロナ後初めて何も制限がなく盛大に開催することができ絶え間ない笑顔と笑い声で満たされました。8月は副会長と委員長が企画した納涼例会では会員の懇親と絆を深めたスタートになりました。9月オープン例会として「AIと中小企業の未来」と異業種交流会を同時開催して100名を超える開催、10月例会では初めての取り組みでしたが、政経連主観団体として平井知事より「地域の魅力発信と中小企業、その戦略と課題」についてWeb講演をした後、各経済団体の垣根を超えて100名を超える懇親会も開催できました。11月例会においても総勢110名を超える会員とご家族で日々の感謝を伝えられる活動になりました。12月例会では「チームビルディング」の学びと忘年懇親会を行い50周年事業開催に向けて団結力を高めてもらう活動になりました。

この半年の活動では、会員同士が互いに鼓舞して盛り上げ当会の枠を超えた所属企業の皆様、会員のご家族をはじめとする当会に関わるすべての方々と共に学び共に喜びを分かち合う事業を創り新たな時代へと駆け抜け抜けています。この活動は更に広がり創立50周年を支えていただきました関係各位、地域の皆様のためになる活動をして参りたいと思います。

本年も皆様のご健勝とご多幸をお祈りすると共に、今後とも当会へのより一層のご理解、ご協力を賜ります様お願い申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

12月例会 開催 「50周年事業成功に向け、チームの推進力を更に高める」

令和5年12月15日、米子食品会館において、第49期鳥取県西部中小企業青年中央会8月例会が執り行われた。冒頭、中村友紀会長より挨拶いただき、新入会員の森下剛会員、武良春香会員、遠藤大哉会員へのバッジ授与があり、今後の中央会活動の抱負を語った。

続いて会員拡大表彰が行われ前期の優秀委員会として敬愛委員会の徳中委員長、最優秀委員会として総務委員会の大江委員長が表彰された。

その後の例会では講師に株式会社ライブリッジの代表取締役 吉岡久美子氏をお招きし、「50周年事業成功に向け、チームの推進力を更に高める」をテーマに、チームビルディングについて講演いただき、その後グループディスカッションとフラフープを使用したアクティビティで、楽しみながら理解を深めた。その後は、食品会館内のCasual Dining Funにて懇親会が行われた。委員会対抗の仮装カラオケ大会では、各委員会準備に準備を重ね大いに盛り上がった。チームビルディングに必要不可欠なコミュニケーションの本質、会員が皆、チームの一員として喜びや自信を持てた。来年50周年事業成功に向けての素晴らしい例会になったのではないかだろうか。

(記事:山根)



12月例会を終えて

12月例会では、50周年事業成功に向け、チームの推進力を更に高めると題し、チームビルディングについて講師をお招きしご講演、ワークショップを開催致しました。現在、50周年事業実行委員会では、5部に分かれてさまざまな事業を企画、準備しております。各部がすでに一つとなり動き出しておりますが、更に推進力を高める必要があると感じ、チームビルディングについて学ぶ機会としました。チームビルディングについては中央会活動だけではなく、ご自身の会社、チームにも活かせる内容だと思います。各々が本例会を通じ、自主性を持ち、野心を持ってこれからの中会、会社で活かしていただければと思います。この度は誠にありがとうございました。

50周年企画委員会 委員長 安藤 瞳男
(山陰フェンス工業有限会社 代表取締役社長)



忘年会に参加して



敬愛委員会 田中 久晶(株式会社工房AZ 工事部主任)

12月15日(金)、西部中小企業青年中央会の忘年会が行われました。50周年企画委員会の木島監事、安藤委員長の名司会で始まり、とても盛り上がる会となりました。

その中でも各委員会からの出し物では、7月から始動した第49期で培われた会員同士の一体感が感じられ、各委員会とも準備・練習をされてきたのだと感じました。

第49期も残り半分の期間となりましたが、今回の忘年会を通して、会員同士がより団結し、この一体感を存分に生かして、来期の50周年事業へ向けてさらなる活発な活動になるのではと感じました。



中央会発信委員会 隠岐 翔太(西部ホンダ販売有限会社 店長)

中央会発信委員会の隠岐です。

初めて忘年会に参加させて頂いた感想を一言で言うと凄い!!でした。例会時の真面目な雰囲気とはガラリと変わり終始楽しい雰囲気でした。なんといっても、委員会対抗カラオケ大会は盛大に盛り上りました! 各委員会のカラーが出ていて、他委員会の雰囲気も感じ取れ良かったです。個人的には最後の「NAKA(ナカ)」は目が離せなく本当に面白かったです。

忘年会は確実にトランスマッチング出来ていたと感じました。50周年記念事業もこの勢いで全会員で一致団結しトランスマッチングできると確信しました。その為にも私も微力ながら積極的に活動していく所存です。

全体を通して、本当に有意義で楽しいひと時でした。



11月(家族)例会に参加されたご家族より



総務委員会 高田 典宗会員(有限会社高田 管理部長) の奥様、お子様

今回の家族例会には子ども2人と一緒に、家族4人で参加させて頂きました。

多肉植物の寄せ植えや、ブーケ作りの体験は、普段なかなかできない体験で、新鮮で楽しかったです。子ども達も、好きな色の花を選んだり、多肉植物を選んで、自分で配置したりと楽しく体験ができました。自宅に帰ってからもお花を飾ったり、自分の寄せ植えした多肉植物を自分の机に飾ったりして、喜んでいました。

お弁当も子ども達が好きな柄のお弁当箱を選んで、好きなおかずを詰めて、自分だけのお弁当というのが嬉しかったと思います。1つゲームが終わるたびに「もうお弁当?」と何度も聞いてきました。楽しみにしていたお弁当の時間では「美味しい~♡」と、とても喜んで食べていました。

アレルギー持ちのお子様へは事前に確認いただき、例会後に症状が出ていないか確認のお電話もあったと聞き、素晴らしいご配慮だなと感じました。色々なゲームの企画や、材料の準備など大変だったと思いますが、楽しい時間を過ごさせて頂き、ありがとうございました。

卒会予定者より 敬愛する中央会生活を振り返って

中央会発信委員会 景山 慎也
(サンクリーン株式会社 常務取締役)



この執筆の依頼をいただき、卒会を半年後に迎える時期であると認識すると同時に、小学校に入った長男が6年生となり卒業を迎えるのと同じく、月日の経つのが本当に早いと改めて感じた次第です。

入会した頃は、もう入会年齢制限を超えてると思っておられた先輩方が多数…。初めのころは何かと人前で話をする機会が多く、嫌でしょうがなかった記憶しかありません。

とにかく休まずに参加する。いつでもどこでもこの言葉を掛けられたように思います。その中で色々な役をさせていただく機会をいただきました。今でも自信を持って出来ていると言えませんが、周りを見て気を配る事を先輩方に教わりました。その時々の委員会メンバーの皆さんには本当に個性豊かで、素晴らしい発想と打開力を持った方々で、なるほど、みんなこう考えて見ているんだといつも気付きをもらいました。

限られた時間をどのように使うかは本人次第。せっかく与えられたこの機会と縁を今後の社会生活でも大切にしていけたらと思い感謝いたします。短い間でしたがお世話になりました！

委員長 2024年抱負

50周年企画委員会 委員長 安藤 瞳男(山陰フェンス有限会社 代表取締役社長)

新年明けましておめでとうございます。私の今年の抱負はもちろん!『50周年事業大成功』とさせていただきました。いよいよ今年は50周年YEARとなります。実行委員長としてはもちろんですが、中央会の総力を上げて、地域の方々に恩返しができるような事業をさまざま企画しております。一人でも多くの方に西部青年中央会の存在意義を示し、『中央会最近元気だな~』と言つていただけるような会にしていきたいと思います。本年は関係者の皆様、OB会員の皆様にはさまざまなお願いをさせていただきますが、ご指導の程、何卒よろしくお願ひ申し上げます。

総務委員会 委員長 大江 史紀(株式会社島津組 LIXIL 不動産ショップ島津組部長)

新年明けましておめでとうございます。私の今年の抱負は「目標必達」とさせていただきました。
中央会活動では総務委員会で掲げた会員拡大の目標人数(12.5人)、仕事では売上利益目標を、そしてプライベートでは今年こそ資格試験の合格を。この3つの目標を必達するべく、上へ上へと空高く昇ろうとする龍のように気持ちも上向きに弾んで参る所存です。

本年もご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

政治・ビジネス委員会 委員長 小坂 泰彦(有限会社はなや 取締役)

明けましておめでとうございます!今年の抱負を「楽しむ」とさせて頂きました。あつという間に49期も上半期が終わり、委員長生活も残り半年となりました。委員長という大役を頂いているせっかくの機会、委員会メンバーと共に楽しんで49期をしっかりと最後までやり通したいと思います。また当会50周年を迎えるにあたり、政治・ビジネス委員会は50周年事業のオープニングイベントとして会の外部(地域の方)へ向けたイベントを現在企画しております。運営する私達が楽しむのはもちろん、地域の皆様に大いに楽しんで頂けるようなイベントとなるよう準備を進めております。笑顔あふれるイベントとなること間違いありませんので、その際はぜひ皆様ご参加ください!

中央会発信委員会 委員長 長谷川 恵一(HASEGAWAテクニカ株式会社)

私は2024年、「みんなが楽しく」なるように社業や中央会活動に取り組みたいと思います。
第49期は50周年を迎えるにあたり、委員会や例会の他にも周年実行委員会や部会も開催され、例年より慌ただしく中央会活動に取り組んでいる感覚があります。充実感がある一方、委員会メンバーや他の会員との時間、特にご卒会の方との時間を大切にできているのか…ふと年末になりました。

半世紀周年という重大な節目を共に過ごす仲間を大切にあと半年頑張ります。

敬愛委員会 委員長 徳中 太慈(大連 代表)

明けましておめでとうございます。本年も宜しくお願ひします。
委員長を務めさせていただいた半年間、委員会メンバーをはじめとするたくさんの仲間と活動を行いました。今年もそのスタンスは変えず目標の『中央会の敬愛を形に』を仲間と一緒に作っていきたいと思います。会として50周年を迎える中央会の活動も、プライベートもまずは自分自身がしっかり楽しんでいきます。
みんなで最高の年にしましょう!

50周年事業スローガン・活動テーマ 決定!!

50周年事業スローガン

感謝と恩返し

鳥取県西部中小企業青年中央会は来期50周年を迎えるとしております。50周年という節目の年となり、日頃より支えて頂いている地域の皆様へ還元できる事業を企画し、地域の皆様にもっと鳥取県西部中小企業青年中央会を知っていただき、西部地区が更なる発展に繋がるような事業を実施します。また、50年もの間会が成り立っているのも、地域のさまざまな方々のご協力があってこそだと考えております。地域・会社・家族・OB・関係団体へ感謝…そして仲間に感謝。感謝の気持ちを恩返しし、会全体で50周年事業を盛り上げ、未来へ繋ぐ事業を企画・実施します。

活動テーマ

不易流行～歴史を紡ぎ、新たな時代への挑戦～

半世紀という節目を迎えるにあたり、これまで数々の方々が積み上げられた会の歴史を『不易』変えてはならないことと捉え、一方で多種多様に変わり続ける現代において新しいものを取り入れる『流行』を掛け合わせることにより、会にとって希望ある未来に繋げる事業とします。また、50周年事業実行委員会では、会の歴史を踏まえつつ、これまでの常識にとらわれず、斬新で挑戦的な活動を目指し、高ぶる感情を抑えることなく新時代を切り開きます。

鳥取県西部中小企業青年中央会誕生から50年という節目に、これまで会が築き上げてきた魂とこれからの地域の未来へ繋ぐ架け橋として、新たな時代の担い手となり、風穴を開ける事業とします。全会員がひとつとなり50周年事業という一大事業を全員でやり遂げましょう。

編集後記

今期7月に入会し早くも5ヶ月が経ちました。
私には子供が3人おり、1人がインフルエンザにかかり治ったかと思えば週替わりで家族全員インフルエンザになってしましました。

50周年も近づいて来ているので、体調管理を今まで以上に気をつけていきます！

皆様で一致団結して頑張りましょう！

(総務委員会:渡部)



コメント この度入会させていただきました、株式会社Connecting-Dotsの遠藤大哉と申します。ほしづら薬局という調剤薬局で管理薬剤師を務めております。

中央会での活動を通して、地域に貢献できる人間として成長したいと考えております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。